

	指導過程	学習活動	指導内容、指導、援助上の注意、配慮	実践的コミュニケーション能力育成との関わり
始業前	0, Pre-Warm up	English Songs	英語の曲を流し、英語の授業の雰囲気を出す。	Affective filter を減じる工夫、効果。
導 入	1, Greeting 2, Warm-up (実践的コミュニケーション能力育成の基礎的活動)	挨拶、日付等の簡単な会話 1, Q & A 200 復習 2, answer コーナ 3, ペア競争	元氣よく発声させ、以降の発話がスムーズに発せられるよう配慮 今日のトークでも使用する現在完了の経験用法の復習を行う。 リピート - answer - ペアでプラスワン表現を含め、ペアでの競争。(定着方法工夫)	まだ集中できていない生徒がいれば、指名し質問する。 その際、「困った時表現集」参照へ 対話を長く保つための基本表現暗記はコミュニケーション。能力養成する為の基礎的活動として有効と考える。
展 開	3, Oral-Introduction 4, Reading Repeat Practice Buzz Reading Pair Reading Read & Look up Pair story re-telling Shadowing 5, Check of Understanding	英語による本文導入、新出文型紹介 リピート練習/Chunk Input 個人練習 ペアとの音読交換 リード アンド ルックアップ 一方が本文内容を言い換えて相手に聞かせる。 CDとの重ね読み TFクイズ	この口頭導入で、教科書を開く前に本文のおおまかな意味をつかませ併せて新出文型の紹介も行ない、意味を推測させる。 読みやすいように、意味のまとまりで発音させる。 音読マラソンシートを利用し、大きな声で読みの練習。 ペアの相手に聞いてもらう。相手はリスニングしながらリクシヨンをできれば本文を暗記の段階まで高める指導。トークへつなげる。 絵や表示されている単語を上手く使い、約1分間もたせる。 聞き手は、うまく聞いて、あいづちやリアクションをする。 本文内容の確認の意味をもつ。ほとんど暗記していないとできない。 Paced Readingを先におこなう。 TFシートに解答を記入する。	Interactiveな活動になるように配慮。 聞いている方はあいづち等をし音読を通しコミュニケーション Good Listener Training が方略的能力、談話能力養成へつながると考える。 生徒が聞き返してくるようなことをわざとしてみる。
展 開	6, Introduction of a new grammatical item 7, 2 minute talk Model talk Brainstorming stage Mechanical stage Meaningful talk stage Communicative talk stage Demonstration (S-S/ALT-S)	SVOCの英文の紹介とペアワーク Talk パターンの例示 将来の何の職業につきたいか 2分間考えさせ、絵で具現化 対話の出だしの文とよく使う英文をリピート練習 隣のペアとの2分間会話 meaningful-S 後ろの生徒と2分間会話 communicative-S 数ペアのデモンストレーション (impromptu pair)	ALT, JTEが協力し、SVOCの基本表現(call~)を紹介。その後ペア練習へ ALT と JTEによるモデルトーク。 2 min talkの為には how to say より what to say に重きを置く。 出だしの文を完全に暗記させる。その後の英文が、音読ステージで徹底的に練習した英文を使わないと会話が続かない。 まずペアと2分間会話し、その反省を抽出し、次の会話をよりコミュニケーション的なものへ導く。 前後ペアを利用し、シートをなるべく見ないで2分間会話をする。 相手の情報を得たらワークシートへ記入する。 ALT評価により、男女2人ずつgood talkerを選び、即興のトークを行う。その後、ALTとのトークを行う。(ボランティアで選出)	シートを見ず、automaticに回答できるように配慮。 ある程度話す内容を整理し、談話の組み立てをたてる。 対話を2分間保たせる為の努力をする。 言葉のキャッチボールとしての会話を2分間持たせる。 他のペアからの communicative competence のフィードバック。
ま と め	8, Self-Evaluation	今日の授業の自己反省と自己表現	ペア、前後ペアの情報記入 相手の長所、自分の反省記入	
	9, Closing	終わりの挨拶	元氣よく挨拶	

	指導過程	学習活動	指導内容, 指導, 援助上の注意, 配慮	方略的能力, 談話能力育成との関わり
始業前	0, Pre-Warm up	English Songs	英語の曲を流し, 英語の授業の雰囲気を出す。	Affective filter を減じる工夫, 効果
導 入	1, Greeting	挨拶, 日付等の簡単な会話	元氣よく発声させ. 以降の発話がスムーズに発せられるよう配慮	まだ集中できていない生徒がいれば, 指名し質問する。 その際, 「困った時表現集」参照へ
	2, Warm-up (方略的能力, 談話能力 育成の基礎的活動)	1, 「困った時表現集」言い合い競争 2, リアクションコーナ-	ペアで1分間競争させる。生徒のMotivationを利用 前活動で覚えた表現を実際の対話で上手く使えるかゲーム形式で競う	対話を長く保つ為の基本表現暗記は, 方略的能力養成の基本 この活動は, 方略的能力, 及び談話能力を養成する為の 基礎的活動として特に有効と考える。
	3, Oral- Introduction	英語による本文導入, 新出文型紹介	この口頭導入で, 教科書を開く前に, 本文のおおまかな意味 をつかませ, 併せて新出文型の紹介も行ない, 意味を推測	Interactive な活動になるように配慮
展 開	4, Reading Repeat Practice Read & Look up Buzz Reading Pair Reading Silent Reading Pair story- reproducing Shadowing	リピート練習/Chunk Input リード アンド ルックアップ 個人練習 ペアとの音読交換 意味把握の黙読 一方が本文内容を言い換えて 相手に聞かせる。 CDとの重ね読み	読みやすいように, 意味のまとまりで発音させる。 できれば本文暗記の段階まで高める配慮 音読マラソンシートを利用し, 大きな声で読みの練習 ペアの相手に聞いてもらう。相手はListening 最後のT&Fクイズの為に, 意味の確認の為に読み 絵や表示されている単語を上手く使い, 約1分間もた せる。聞き手は, うまく聞いてあげることが重要 本文内容の確認に意味をもつ。読みからスピーチへ	聞いている方はあいづち等をし, 音読を通しコミュニケーション  Good Listener Training が方略的能力, 談話能力養成へつながると考える
	5, Check of Understanding	T F クイズ	TFシートに解答を記入する。	生徒が聞き返してくるようなことをわざとしてみる
展 開	6, 2 minute talk Review of the key sentence Brainstorming stage mechanical stage meaningful stage communicative stage Demonstration	key sentenceの 意味確認 将来の何の職業につきたいか 1分間考えさせる。 対話の出だしの文とよく使う 英文をリピート練習 隣のペアとの1分間会話 meaningful-S 後ろの生徒と1分間会話 communicative-S 数ペアのデモンストレーション	want to ~ の意味を確認させ, 会話で使用 できるように段階を重ねて, 高めてゆく。 1 min talk の為には how to say より what to say に重きを置く。 出だしの文を完全に暗記させる。その後の英文が読みの stageで徹底的に練習した英文が出てくるように。 まずペアとシート参照の1分間会話し, その反省を抽出し, つぎの会話をよりコミュニケーション的なものへ導く。 前後ペアを利用し, シート無しの1 min talk を行なう。相手の情報を聞きとってワークシートへ記入する。 これらのデモンストレーション会話から短所を削減, 長所を学ぶ。	ある程度話す内容を整理し, 談話の組み立てをたてる  話しを1分間保たせる為の努力をする。(方略的能力発揮)  言葉のキャッチボールとしての会話を2分間持たせる (談話能力発揮) 他のペアからの2つのcompetenceフィードバック
ま と め	7, Consolidation	今日の有用表現のまとめ	会話で知れた2人の友達のなりたいたいものを英語で記入	
	8, Self-Evaluation	今日の授業の自己反省と 自己評価	(話し手) 「こんな英語が言えたら」記入 (聞き手) 「こんな時どう対応するの」記入	話し手側の反省 -- 主に方略的能力育成へ 聞き手側の反省 -- 主に談話能力育成へ
	9, Closing	終わりの挨拶	元氣よく挨拶	